

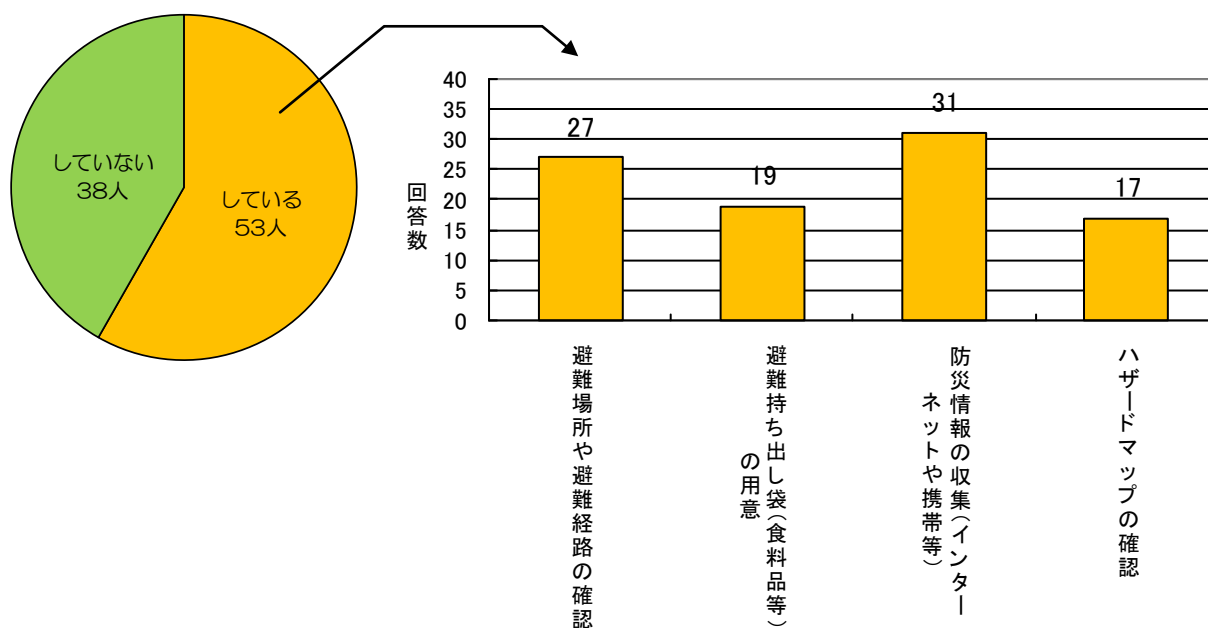
## 足羽川激特事業竣工記念 防災フォーラム 会場アンケート調査結果

(アンケート回答数 91)

### ■防災について

Q1. あなたは日ごろから水害への備えを何かしていますか。

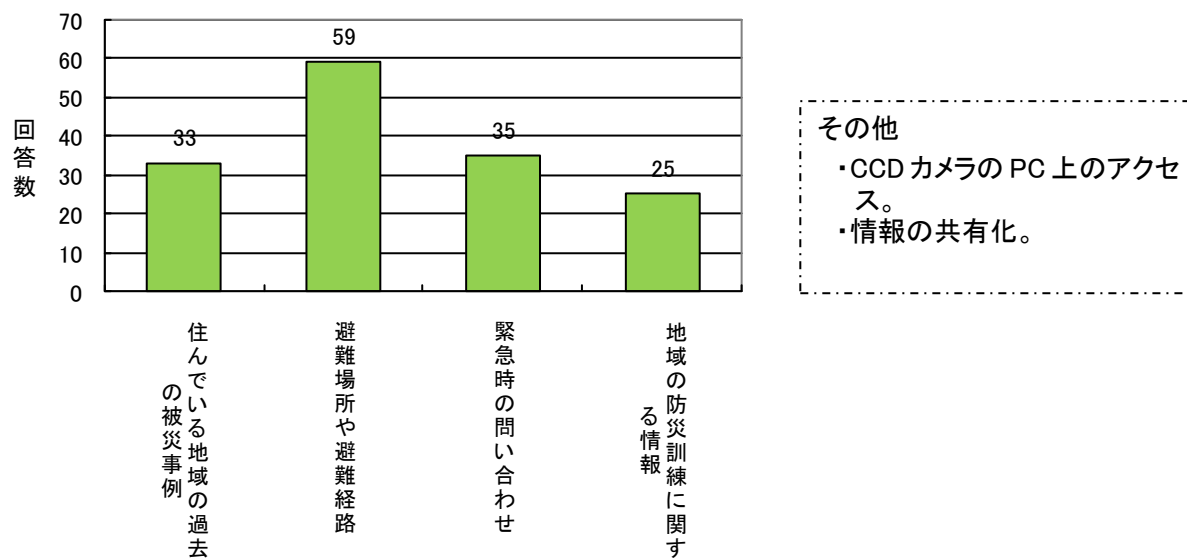
(Q1 で「している」と答えた方への質問) どのような備えをされていますか。



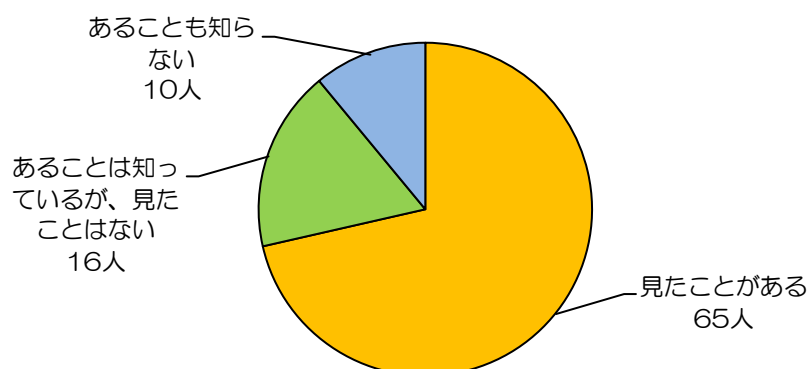
#### その他

- ・家を建てる時、堤防と同じ高さに土盛りした。洪水が発生しても自宅下が水道にならない地形を作った。
- ・直接被害より二次被害に対応するようにしている。
- ・事務所への浸水防止板の設置。
- ・近くの川の水位を確認している。

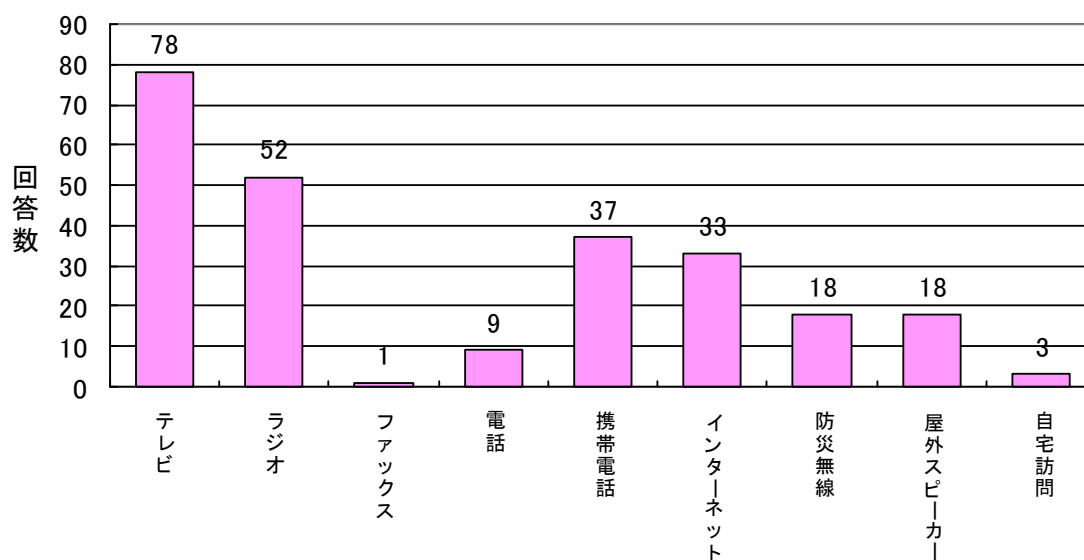
Q2. 日ごろから災害に備えるために知っておきたい情報は何か。(複数回答 可能)



Q3. あなたのお住まいの地区のハザードマップを見たことがありますか。

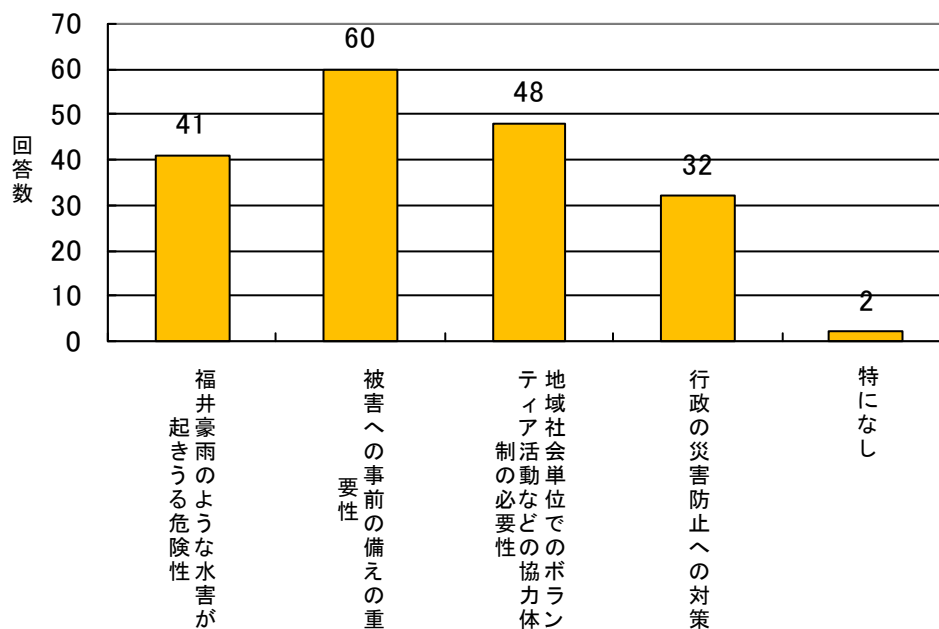


Q4. 水害が起こった時には、どのような方法で情報を入手したいですか。(複数回答可能)



■防災フォーラムについて

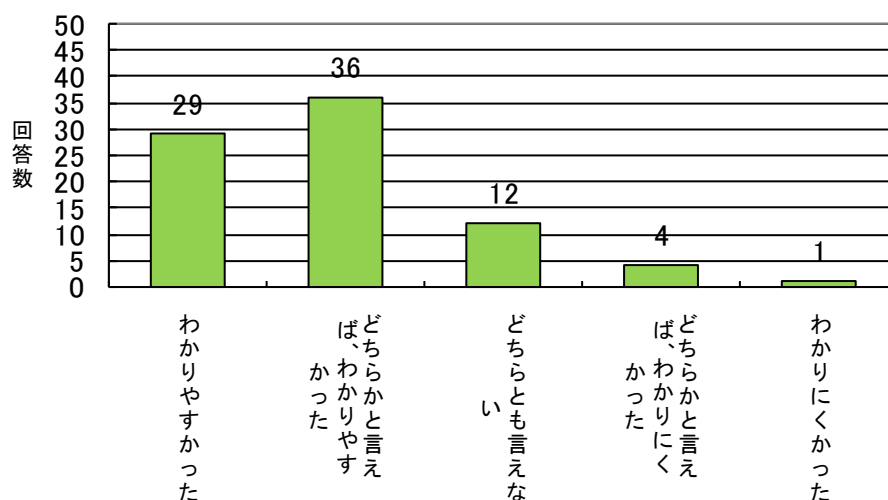
Q5. 本日フォーラムに参加されて、どのようなことを感じましたか。(複数回答可能)



その他

- ・堤防の高さは左右岸で違うようにしたのかを含めて洪水対応としての難破堤化はどのようなになったのか。行政としてまだコストをかけずに対応できることがあるのではないかと思った。
- ・堤防等ハード面の強化。
- ・復旧事業の市民に対するアカウンタビリティーと対策のPDCA プラン、ドゥー、チェック、アクションを行政はどういかしているのか？
- ・小さい災害対策。

Q6. 今回のフォーラムの内容はいかがでしたでしょうか。



Q7. このフォーラムに参加してあなたが感じたことや、防災・減災に関する地域の取り組みを進めていく上での課題など、どのようなことでも構いませんのでお聞かせください。

- ・生命ある以上災害の危険性からはのがれられない。(少なくすることは可能)
- ・それぞれが減災対策を真剣に考えることが重要。(ゆとりや余裕がないのが問題)
- ・行政は仕事として取り組めるが、地域社会は困難。(直接的な利益にならない)
- ・優先地域を決めてソフト対策をすることも一つの手段。
- ・各個人のモチベーションをあげるにはどうしたらいいか？
- ・行政が協働して対応していく方法がベストかと思う(生業だから責任感が強い)
- ・1. 防災のために違法駐車や粗大ゴミの路上放置は絶対になくすべきです。
- 2. 荒川堤防の草がひどく、堤防に亀裂が入っていても見えない。(年1回県が除草してくれた時、個人として見まわり、亀裂などの写真をとって県・土木事務所に報告したことがあります)
- 3. 荒川河口(足羽川への流れ込み)に水門と閉めた後、上流から流れ込む水を流し出すためポンプがついていましたが、ポンプの取入口が8.5mで荒川堤防(9m)よりは低い荒川支流(古川、赤川など8m)より高く荒川流域の地域が浸水する。
- ・行政側は災害情報を流し住民は情報に基づいて対応を考える必要がある。自分の命は自分で守る意識付けが大切と感じ、更に自助から共助へ動き出すことが必要であると思った。
- ・災害の種類(台風、水害、地震)によって地域住民によって避難場所を変えて確保する事が必要と思う。堤防のかさ上げと強化をしてもらいたい。下流ほど細い。
- ・継続的な川床堀削と早期の足羽川ダム完成を求めたい。
- ・個々の防災意識の向上が大切だと思う。
- ・内容はどうか今日のような講演や講習や、もっと若い世代が受講、参加する環境づくりが必要。

- ・1. ボランティアの大切さ。NPOが運営するものに対する行政と防災組織の協力。
- 2. 行政が積極的に情報収集しそれを生かす大切さ。
- 3. C3I(コマンド、コントロール、コミュニケーション、インテリジェンス)の大切さ。最近ではC4Iだそうですが、+コンピュータ
- 4. ロジスティックの即応。有塚様、細川様ご苦労されましたね。情報、物品、人力(マンパワー)のスムーズな流れ。
- ・地域内(集落内)の住民同士の日頃からの結びつきを強化することにより、共助の精神が養われるのではないかと。今は個人主義が強調され地域内コミュニティが弱体化しているように思える。
- ・情報過多の時代。いかに受け手の立場にたった情報がだせるかが重要。
- ・今後の防災力強化のためには将来を担う若年層への働きかけが必要だと考える。
- ・行政のみならず、地区単位の自助共助を確立していくことが重要と思われるが、近年人と人との交わりが希釈となり上記の体制の確立が困難であり、今後の課題と思われる。防災は行政と住民が両輪のごとくあるよう、日頃より相互が努力すべき。
- ・流域(雨)にある山腹の状況(植林・自然林)についての話題を入れて欲しかった。
- ・建設と農林の縦割りのギャップについての課題。
- ・高齢者や災害弱者が安全安心な地域になることを。減災対策(今後)に期待します。
- ・避難する際ハザードマップの活用はよいと思うが、安全な道路を。
- ・災害にかかわらず防犯(犯罪)情報等を常時携帯電話等で入力できるシステムを県の危機管理室で導入して欲しい。
- ・災害発生時の速やかな緊急連絡網の整備。
- ・災害で痛い目にあわないと意識をもたない。わかっているけど備えや行動につながらない。本当にむづかしい。
- ・中川先生が言っていました災害に対する住民意識をいかに高めるかが課題と思う。
- ・気象予報と河川計画はリンクしているのか。
- ・自主防災組織の活動力を高めることが必要。
- ・サラリーマン化した地域防災体制をどのように運営していくか。若者の地域に対する意識を変える必要性。
- ・住民意識の向上。関係職員の知識向上。

## ■アンケート調査者について

